

2016年度前半の取組みと全国総会へ向けての課題

2017年5月30～31日
於：全電通労働会館

一、前半の主要な取組み

1. 支部協代表者会議および拡大支部協代表者会議の開催
2. ブロック会議の開催
3. 全国交流集会
4. その他

二、ブロック会議を踏まえた全国総会へ向けての課題

《1》「会」と会員とのコミュニケーションの充実について

(1) 支部協等の主な取組み

常駐体制の週3日→5日体制への支部協増

①地域活動の充実・強化

33支部協で地区協等組織が結成されている。しかし、組織は作っていないものの、ブロック、地区担当役員等を配置し、工夫した運営をしている支部協もある。

②会員との直接コミュニケーションの拡大

- ・80歳以上高齢会員、一人暮らし会員への訪問拡大
- ・「お元気ですか」コール
- ・レク、サークル活動

③支部協ニュース

- ・全支部協で発行。月1回～年2回と様々。年4回以上が33支部協と最も多い。地区協等での手配り化が拡大……一声かけ
- ・近況報告の掲載……総会の出欠ハガキ近況報告を求めニュース、冊子に掲載

④女性会員の活動への参加・参画の現状

- ・全体的には、女性会員数の減少とともに、女性役員も減少し、行事、レク等への女性の参加が少なくなっている。
- ・一方で、女性会員が半数近く参加するグランドゴルフ、女性が参加しやすいサークルで活動が活性化している支部協もある。また、電友会と共同の女性の集いやボランティア活動を行っている支部協もある。

(2) 課題認識として

- ①レク・サークル活動、総会等のイベントへの参加者が固定化している一方で若年会員の参加が少ない。
- ②役員のみならず手不足と女性役員の減少。
- ③女性会員の活動参加へ向け、女性が参加しやすいサークルの立ち上げと中心となる会員の育成
- ④一人暮らしの高齢会員への対応

《2》会員拡大について

グループ連絡会と連携を図り今年度も全体としては、着実な加入への取り組みが行われている。(表を参照)特に、少数の参加者で説明回数を増やしたことや分会単位、居住地での説明会など工夫した取り組みで高加入率の支部協もある。

しかし、一方で、企業本部間の加入状況に濃淡があること。グループ会社で退職する方の情報が伝わらないこと。また、年度途中の退職者への対応などの課題について、NTT労組と対応し、代表者会議で論議する。

《3》アピール21について

AP21ニュースの発行と会員への配布のタイミングが合わないことやAP21の新年度申込書の発送についてAP21事務局と対応する。

《4》危機管理体制について

各支部協とも、工夫した取り組みで、会員の携帯電話や第二連絡先の把握に努めており、昨年と比較し、大災害時等の安否確認方法の取り組みが進んでいる。一方で、グループ連絡会との論議が進んでいない支部協もあり、論議促進に向けてNTT労組と対応する。また、既会員の緊急連絡先や第二連絡先を生協システムに投入し、管理して欲しい。との要望についても、NTT労組と対応し、代表者会議で論議する。

《5》第24回参議院選挙総括

全支部協で、地域の各市町村の得票等の精査がされており、今回出された意見・要望等をしっかり総括し、現役とともに連携し、次期参議員選挙に活かしていきたい。

(1) 具体的戦術についての主な課題

- ①署名カードについて、一定の宣伝効果はある。取り組み期間は柔軟に対応を。
- ②紹介者カードについて、次期参院選へむけ改善を。また、紹介者カードの活用方法を徹底すべき。
- ③総対話活動について、準備は大変だが、効果は大きい。今後も全組織的に対応を。
- ④その他として、現役との調整を含め提起を受けている。それぞれ次の取り組みにむけ、しっかり活かしていく。

(2) グル連との連携について

地域によって、温度差があり、特に4月以降の活動が徹底されていなかった。

(3) 民進党に対する不満

原発問題など重要政策に対し、党内不一致のため、はっきりと国民に方向性を表明できていないことが支持率の上昇につながらない。

三、その他

情報労連、NTT労組の組織改革について、グル連と密接に関係することから、地域と支部協および総支部と総支部内の支部協合同の意見交換の場の設置を。

以 上